↑伊万里太鼓の会の演奏が響き渡ると、会場は一気に凛とした空気感に包まれました

第 34 回どっちゃん祭り

どこもかしこもにぎわう無類の女まつり

江戸時代に焼き物の積み出し港として栄えた、伊万里津のかつてのにぎわいを再現した『どっちゃん祭り』が開催され、約３万８千人の人出でにぎわいました。初出演の『西部航空音楽隊』の演奏で幕開けした祭りは、司会の『石本愛さん』とお笑いコンビ『メタルラックさん』が、息の合った掛け合いで会場を盛り上げました。また、祭りを締めくくる勇壮な『女みこし』の合戦が披露されると、観客から大きな拍手が沸き起こり、会場の熱気が最高潮に達しました。

↑ねじり鉢巻きに法被（はっぴ）姿の女性たちが演じた合戦が、観客を魅了しました

↑総踊りには、８団体 141 人に、23 人の飛び入り参加者も加わり、夕暮れどきに一体となった見事な舞を披露していました

第 57 回伊万里市スポーツ少年団交流大会

スポーツのチカラで深まった友情の輪

国見台陸上競技場で、伊万里市スポーツ少年団交流大会が開催されました。大会には、市のスポーツ少年団に加盟している３団体 37 人が参加し、２種類のニュースポーツ『モルック』『フライングディスク』に挑戦しました。子どもたちは、初めて取り組む競技に少しとまどいながらも、楽しそうに汗を流していました。また、スポーツを通じて、うれしそうに交流するなど、友情の輪を広げていました。

↑フライングディスクをアキュラシーゴールに入れ、うれしさを体いっぱいで表現する参加者

開窯 350 周年『献上の儀』

総理が「光栄」と喜んだ至宝『鍋島』献上

総理官邸で、伊万里鍋島焼協同組合が、石破茂内閣総理大臣に『瑠璃焼締松柏鳳凰文瓶子（るりやきしめまつかしわほうおうもんへいし）』を贈呈しました。これは、同組合が平成 16 年から城を管理する自治体の首長に高品位な焼物を献上しているもので、今回は鍋島藩窯伊万里開窯 350 周年を記念し、石破総理に献上。贈られた焼物は、約３か月間をかけ製作されました。総理に贈られた同じ焼物は、伊万里有田焼伝統産業会館で 11 月から見学できる予定です。

↑瓶子には、石破総理（右から３番目）の政治信条である『雪中松柏』の文字が描かれ、雪が積もった松の絵が施されています